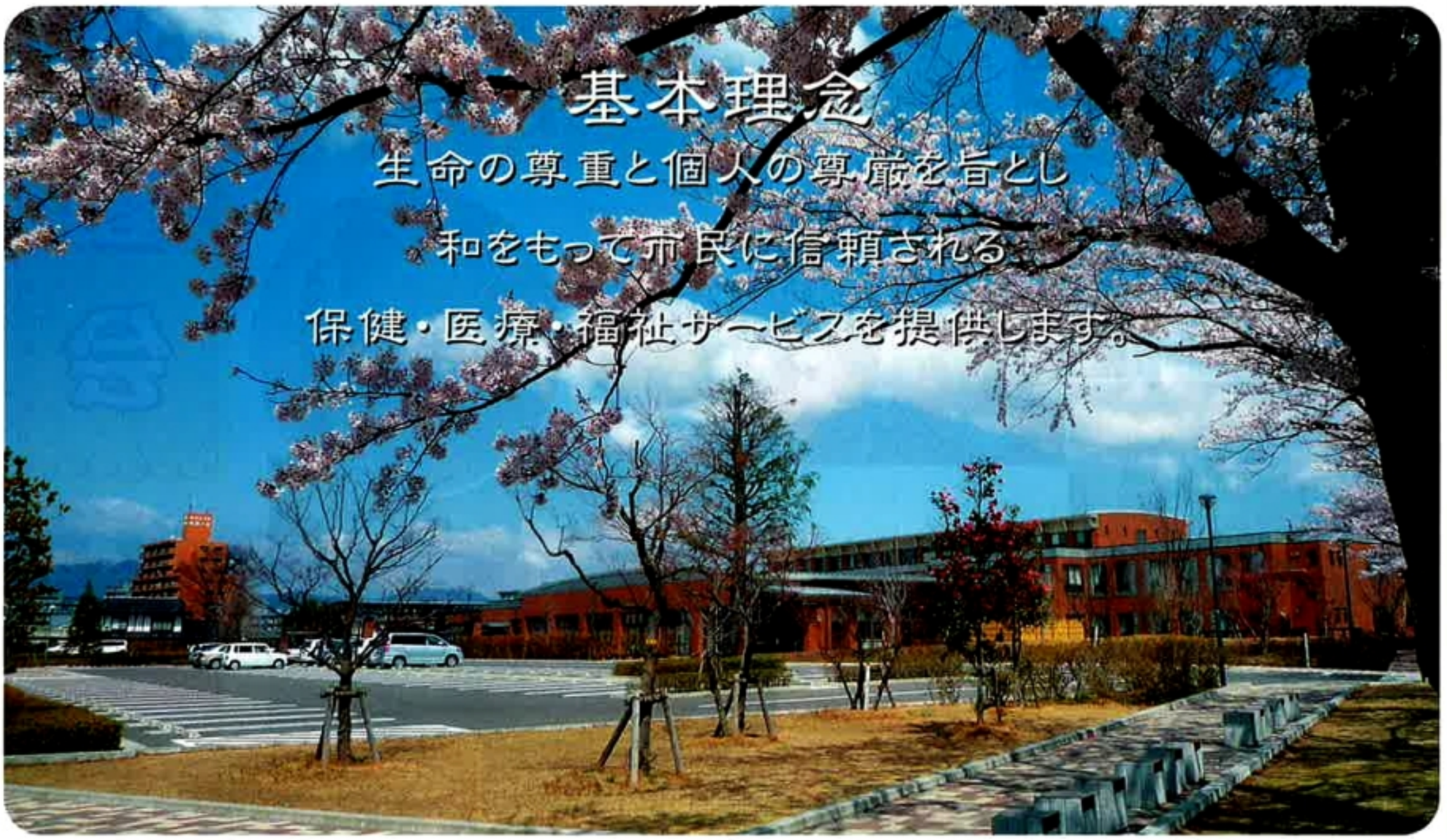
(社)郡山医師会　郡山市医療介護病院広報誌

ビッグハート BigHeart

第12号
発行　平成24年７月１日

郡山市字上亀田１番地の１
024-934-1240
郡山市医療介護病院
広報委員会　発行



巻頭言

院長　原　寿夫

社会保障制度の見直しについて、毎日のようにテレビや新聞で報道されています。その中には、医療保険制度や介護保険制度も含まれ、ともに「保険」制度として、医療保険は二年に一回、介護保険は三年に一回改正があり、今年は六年に一回の同時改正の年でした。今回の改正のポイントは、医療と介護の連携にあり、急性期医療から日常生活における介護サービスまで、その時々に、より適したサービスをシームレスに提供できる体制の確立にありました。

当院は、文字通り医療と介護を繋ぐ「医療介護病院」であり、急性期医療や回復リハビリを経てもまだ日常生活へは無理のある方々に、医療の療養（当院一階の病棟）から介護の療養（当院二階の病棟）までのいわゆる「療養」を提供し、在宅あるいは施設での、よりその方らしい生活の可能な環境に近付けるよう対応させて頂いています。

加えて今年度から、退院後の在宅生活の療養環境をより安心なものへと支援するために、「在宅療養支援病院」の認可申請を現在行っています。

以前から「在宅療養支援診療所」という在宅療養されている方々を二十四時間支援している診療所がありました。また、当院には「開放型病床」というオープンベッドが以前からあり、かかりつけである診療所の医師と当院の医師が一緒に入院された患者さんを診療してきました。

これらの以前から行っている「在宅療養支援診療所」と当院の「開放型病床」との連携をさらに緊密にし、退院後の在宅生活をより安心なものとするのが前述の「在宅療養支援病院」です。通所リハビリ同様、退院後も当院を宜しくお願いいたします。

病院運動会

平成二十四年五月十六日（水）に当院リハビリ室において「運動会」が行われました。昨年度は東日本大震災などの影響で病院全体での運動会は実施できませんでしたので、二年ぶりの病院全体の行事になりました。各病棟の患者様、通所リハビリテーションの利用者様、ご家族様、看護実習の学生さんと大変多くの方々にお集まりいただき盛大な運動会となりました。

趣向をこらした各競技に、参加されたみな様は楽しんでいました。また各病棟・通所リハビリテーション対抗応援合戦では、練習の成果が遺憾なく発揮され大変盛り上がりました。

参加、ご協力をいただいたみな様に感謝申し上げます。

職員の競技もありました。

接戦が続きました

がくとくんが応援に来てくれました！

最後の締めは実行委員長

表彰式です。

力のこもった応援でした。

介護保険制度改正 家族説明会について

（2・3病棟、通所リハビリテーション）

平成二十四年四月一日に介護保険制度の改正がありました。特に介護保険制度は三年ごとに制度の見直しがあり、介護保険の保険料や、サービス利用にかかる費用の見直しなどが行われます。介護保険制度では、サービスにかかる費用についてはご本人、ご家族様にあらかじめ説明を行い、同意をいただくことが制度上必要とされています。

このようなことから平成二十四年四月に「介護保険制度改正家族説明会」を合計四回開催し、サービス利用の費用の変更等について説明を行いました。また、それぞれ病院長のあいさつからはじまり、病棟や通所リハビリテーション担当者より生活の様子や活動についてなども説明させていただきました。

サービス向上委員会からは、昨年度実施しました、利用者・ご家族様満足度アンケートの結果について報告も行いました。

施しましたが、多くのご家族様のご参加をいただき誌面をお借りして御礼を申し上げます。

ありがとうございました。

次　第

1．病院長挨拶
2．職員紹介
3．各部署からの報告
4．平成24年度制度改正について
5．重要事項等の変更について
6．質疑など

当日はミニ作品展も実施しました。

市民公開講座

平成二十四年六月六日（水）

平成二十四年六月六日水曜日 開院六周年記念市民公開講座を当院三階大会議室で開催しました。小雨も降る天候の中、多くの地域のみな様にお集まりいただきました。ありがとうございました。

講師は公益社団法人成年後見センター・リーガルサポートふくしま支部長で司法書士の伊藤栄紀（いとうたかのり）先生が、「自分らしく生きるために～知っておきたい成年後見制度と遺言の基礎知識」というテーマで講演を行いました。

講演会終了後は看護部等による健康相談を行いました。血圧や血糖、骨密度、体脂肪などをはかり、記録表に記入し参加されたみな様に渡ししました。また相談コーナーでは看護部、地域連携室、管理栄養士、リハビリスタッフなどが担当し、みな様のご相談にお応えしました。また来年もよろしくお願いいたします。

看護学校建設について

平成二十四年四月一日（社）郡山医師会と（財）郡山高等厚生学院郡山准看護師高等専修学校は法人合併を行いました。現在病院西側の土地に新しい看護学校の建設がはじまり、平成二十五年四月一日からは名称も「郡山看護専門学校」となります。

【起工式】

看護学校の起工式は平成二十四年四月二十三日（月）午前十時に郡山市長原正夫様、郡山市議会議長大内嘉明様を来賓に迎え、菊池辰夫郡山医師会長他、工事関係、病院関係、看護学校関係者が出席し行われ、土地の平安とこれからの工事の無事や安全を祈念しました。建設工事にともない、病院北側に工事車両用の通路をつくりました。また北側駐車場が一部閉鎖されて

力をよろしくお願い申し上げます。ご家族様用の駐車スペースは引き続きご利用頂けます。

なお建設の様子は当院ホームページでご覧になれます。

来院のみな様にはご不便とご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協

【訃報】北村公博先生 ありがとうございました。

去る平成二十四年五月三十一日午後一時五十分当院北村公博副院長が奥様と娘さんに見守られ、お亡くなりになりました。葬儀は六月三日（日）に、原院長が葬儀委員長となりしめやかに行われました。享年六十五歳でした。

当日はたくさんの方の参列があり、最期まで医師としての姿勢を貫いた姿に、多くの方があらためて先生のご冥福をお祈りしました。

【看護部より】

「先生はいつも患者さんやご家族の立場に立って仕事をしていました。患者さんのことをお呼びするのに『年上の方に失礼のないように呼びなさい』と職員に注意していました。先生はご自身の病気（ガン）を知っていたのかも知れません。それでも外来診療と病棟診療を続けていました。今思うと医療人として凛とした姿勢に感動をしました。五月十四日の診療が終了したとき『これが限界だな・・・』と話され聴診器を置かれました。しかし、その後も一週間は病棟の診察は行っていました。そして、『十分やったよな、皆に感謝しながら死んでいくよ、ありがとう。』と言われた言葉を今も忘れません。それでも弱音を吐きませんでした。入院されてからは奥様や娘さんとお話しする機会がありましたが、父として、夫としていかに家庭を大切にしていたのか知ることもできました。これからも先生が私たちに教えてくれた、患者さんに寄り添うこころ、思いやるこころを忘れることなく大切に守っていきます。」

ご家族様の深い悲しみを想いながら、先生に感謝と御礼を申し上げます。

北村公博先生ありがとうございました。　合掌

外来医師当番表

診療科目	月	火	水	木	金
内科	原　寿夫	原　寿夫	原　寿夫	原　寿夫	原　寿夫
婦人科	芳賀 健一	芳賀 健一	芳賀 健一	芳賀 健一	芳賀 健一
整形外科	武田 幸恵	休診	武田 幸恵	武田 幸恵	休診

診療時間　月～金／午前９時 ～ 正午まで
休 診 日　土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始

郡山ビッグハート

【交通のご案内】

●福島交通バス…郡山駅発第９・10番ポールより乗車下さい。希望ケ丘、新池下団地行郡山ビッグハート下車
●郡山駅より車で十分
●東北自動車道郡山インターより車で八分

「郡山ビッグハート」は郡山市医療介護病院と郡山市休日・夜間急病センターの複合施設の愛称です。市民の皆様の健やかで心豊かな生活を支援する施設です。

平成二十四年度 病院夏祭り 8月25日（土）開催！

編集後記

平成二十四年四月に診療報酬と介護報酬の同時改定がありました。大きな流れは地域や多様な住まいという事も視野に入れた「在宅」へと向かっています。◆故・北村副院長は昨年の大震災の際には積極的に被災した他医療機関の入院患者の受入を行い、また担当の１病棟のオープンベッドや医療療養病棟の機能を活かし、診療所の後方支援的機能や退院後のフォローなどに積極的に取り組んでいました。◆これらは当院の方針でもありましたが、先生のこの取組みは療養病床の可能性を私たちに示していただいたものでもありました。（ま）

〒963-8031 郡山市宇上町田１番地の１ TEL 024-934-1240(代表) FAX 024-934-1070 ホームページ:http://bigheart-hp.net